

令和3年度の予算が決定

予算総額 195億8,890万円

一般会計:112億2,300万円 特別会計:69億4,720万円 企業会計:14億1,870万円



養老町議会第1回定例会は、3月4日(木)に開会され、最終日の19日(金)、一般会計112億2,300万円、8つの特別会計および企業会計(上水道事業、公共下水道事業)合わせて83億6,590万円にのぼる令和3年度予算案が可決されました。

(一)では、承認された新年度予算について、その概略をご紹介します。

基本姿勢・運営方針

大橋町長は、「新年度から新たに「養老町まちづくりビジョン」がスタートします。基本理念には「人と地域を結ぶまちづくり」を、将来像には「人があつまり楽しく生きがいのあるまち」を掲げました。このビジョンのもと、社会情勢の変化や町民ニーズを的確に把握し、柔軟な事業展開を行いながら、常に問題意識を持ち、分野にとらわれない積極的な変革に挑戦してまいります」と基本姿勢を示しました。

続いて、「機動力のある組織体制の形成を目指し、町長部局・教育委員会事務局を再編するとともに、新たに新食肉基幹市場建設推進室を設置する機構改革を実施しました。これは、スリムで効率的および住民視点でのわかりやすい組織編成を目的としており、部局機能の充実・部長権限の強化や、事務処理の効率化、町民ニーズへの迅速な対応を図るものであります。

新たなビジョン、新たな組織のもと、人口減少や社会環境の著しい変化に対応するとともに、シビックプライドの醸成や持続可能なまちづくりを推進し、

「町民主導」「公正公平」を念頭に、養老町の未来のため、邁進してまいります。」と述べました。

予算のあらまし

予算の内訳は、一般会計が112億2,300万円、特別会計・企業会計が合わせて83億6,590万円で、予算総額は195億8,890万円となっています。

一般会計が前年度比2.0%増、特別会計及び企業会計は、前年度比0.5%減、総額は前年度比0.9%増となっています。

一般会計予算の歳入面では、町税は前年度から7.0%減の31億6,225万3千円を計上、地方交付税は、前年度比9.4%増の24億1,670万円を見積もりました。

また、町債については地方財源の不足に対処するための臨時財政対策債に前年度比87.5%増の6億5,500万円を見込み、庁舎等管理費の公共施設等適正管理推進事業債、地方道路等整備事業債保健体育施設整備事業債など、総額で11億5,150万円を計上しました。